



歴史未来館からのお知らせ

企画展「懐しさと面白さが新しいダンボール工作展」

暮石 樹さんによるダンボールを利用した作品展を開催します。

展示期間 4月4日(土)～5月10日(日)

時間 午前9時～午後5時 場所 歴史未来館

入館料 無料

休館日 月曜日(祝日、振替休日の場合はその翌日)

ワークショップ開催

日時 4月18日(土) 午前9時30分～11時30分

講師 暮石 樹氏

場所 歴史未来館 1階 多目的ホール

内容 ダンボールで恐竜をつくります

定員 10人(小学生以上 先着順・小学生以下は保護者同伴)

材料費 300円 持ち物 はさみ・カッターナイフ

申込方法 インターネットによる事前申込

※3月18日(水)午前9時から申込開始



▲申込みはこちらから



〒歴史未来館 ☎388-0161

コラム Column | 見る!知る!学ぶ!れきみ通信

「未来へつなぐ、再生アート」

今回開催する暮石さんの段ボールアートは、身近にある不要になった段ボールを再利用して制作されている点が大きな特徴です。本来であれば捨てられてしまう段ボールに新たな価値を与え、作品として生まれ変わらせるその姿は、まさに「再生」のアート。「もったいない」という気持ちを出発点に、資源を大切にすることを育てる取り組みとして、SDGsの視点からも高く評価されています。

企画展のテーマは「おとぎ話・メルヘンの世界」。会場には、シンデレラ城や竜宮城など、どこか懐かしさを感じさせる作品が並びます。夜空を見上げるかぐや姫の作品にはUFOが登場するなど、思わず微笑んでしまう遊び心も感じられます。

一方で、赤ずきんちゃんとオオカミの作品からは、物音を立てずに獲物を待つ緊張感や、今にも姿を現しそうな不気味さが漂い、童話の中に潜む“怖さ”もしっかりと表現されています。

段ボールならではの柔らかな質感と、主人公たちの優しい表情、それとは対照的なオオカミの鋭い眼差しが、物語の世界観をより深く

印象づけます。素材の素朴さと、細部まで丁寧に作り込まれた造形は、子どもから大人まで世代を超えて多くの人の目を楽しませてくれます。

また、軽くて安全な段ボールは、小学生のお子さんでも安心して扱える素材です。会期中にはワークショップも開催され、作品づくりを通して味わう「ものづくりの楽しさ」や「達成感」も魅力の一つです。

作品に触れ、制作を楽しむ中で、物を大切にする心が自然と育まれる段ボールアート。環境と人にやさしく、想像力を刺激しながら心を癒やしてくれるアートの世界を、ぜひこの機会にお楽しみください。



▲ワークショップで制作する恐竜